



全国学力・学習状況調査の結果からみる本校(3年生)の傾向

全国学力・学習状況調査は文部科学省が行っている調査で、毎年、全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施されます。今年度は4月に国語と数学、理科の学力調査が行われました。また、同時に「生徒質問紙」による生活や学習状況の調査も行われました。その結果をもとに、本校3年生の傾向を説明します

1 各教科の傾向と強みと弱みについて

【国語】

本校の平均正答率は、全国、三重県を下回りました。

学習指導要領の内容別にみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべての内容について全国、三重県の平均正答率を下回っています。評価の観点別でも「知識・技能」「思考・判断・表現」共に全国、三重県の平均正答率を下回っています。また、問題形式別の平均正答率においても、「記述式」「短答式」「選択式」のすべての形式で全国、三重県の平均正答率を下回りました。



今後は、読解力や情報を的確に取り出す力を高めるための取り組みや、記述式の問題に対する力をつけるため、自分の考えを書く・まとめる問題への取り組みを進めていきます。

【数学】

本校の平均正答率は、全国、三重県とほぼ同等でした。

学習指導要領の内容別にみると、「図形」「データの活用」の内容について全国、三重県の平均正答率を上回っています。また、問題形式別の平均正答率においては、「短答式」の形式で全国、三重県の平均正答率を上回りました。

今後は、自分の考えを数学的な用語や数式を使って説明する問題や「なぜそうなるのか」を説明し合ったり、短い文章で理由を書く練習に取り組んだりして、思考力や記述式の問題に対する力をつけるための取り組みを進めます。

【英語】

本校の平均正答率は、全国、三重県とほぼ同等でした。

学習指導要領の内容別にみると、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」は全国、三重県の平均正答率とほぼ同等でした。また、各設問の正誤パターンから学力を推定し、得点で表した「IRT スコア」に関しては、本校の平均 IRT スコアは全国、三重県の平均を若干下回る結果となりました。

今後は、短文の正確な読み書きを中心とした課題や短いまとまりのある文章を書く課題を多く取り入れ、語彙力や文法事項の基礎基本の定着を図ります。

2 生活質問紙からみる本校生徒(3年生)の傾向

生徒質問紙より(一部抜粋)

肯定的回答の割合(%)

質問事項	本校	全国
朝食を毎日食べていますか	93.4	90.9
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.9	80.5
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	95.6	92.4
自分には、よいところがあると思いますか	89.0	84.0
将来の夢や目標を持っていますか	57.2	67.6
人が困っているときは、進んで助けていますか	85.7	90.8
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	89.0	95.1
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.9	95.9
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	83.5	78.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	80.2	72.3
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	85.7	78.0
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	85.7	77.8

生徒質問紙の結果から、全国の回答平均と比べて本校の3年生は、「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている・起きている」生徒や「自分には、良いところがあると思う」生徒、「人の役に立つ人間になりたい」と思う生徒が多いことが分かりました。また、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う生徒も全国平均を上回っています。



学習や学級活動については、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」と思う生徒や「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」生徒の割合も全国平均より多くなっています。

この調査は、文部科学省が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、各学校においても自校の児童生徒の状況を把握し、指導の改善に役立てるためのものです。今回、本校の結果では、各教科の内容・領域ごとの正答率は、全国や三重県とほぼ同じか下回る結果となりました。この結果を踏まえ、改善すべき点を明らかにして、授業改善等に活かしたいと考えています。また、家庭学習について、学ぶ意欲を高め、授業の学習内容を確実に定着できるよう、課題の目的をはっきり示し、計画的に取り組んでいきます。

今後も学校、家庭が連携し、生徒のより良い成長を促したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。